

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 36-001

PDCA	事務事業名	安定供給事業	部課等名	水道部 上水道課 工務担当	担当 内線等	石川 493	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 1. 水道					
		単位施策： (1) 水道の安定供給					
根拠法令等	水道法第1条、半田市水道事業給水条例						
対象・目的	配水管網を整備してブロック化(区域の分割)することで、市内全域において一定の水量・水圧を確保する。また、災害や事故発生時には、ブロックごとに断水区域を限定することで影響範囲を最小限とし、早期の復旧、給水開始が可能となる。						
目的を達成するための手段・活動内容	ブロック化に基づく管路網を考慮した上で、道路改良事業や分譲地など新たな需要が見込まれる地域での配水管布設や、下水道や土地区画整理など他事業の実施に伴う配水管移設及び布設工事を実施する。また、漏水等に伴う修繕工事を実施することで有収率の向上を図る。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①給・配水管維持修繕工事	98	75	95.0	件	
		②配水管のブロック化工事	0	0	0.0	m	
		③配水管布設延長	265	373	1,606	m	
		事業費	42,514	42,795	186,361	千円	
		人件費	11,546	13,881	14,059	千円	
		総事業費	54,060	56,676	200,420	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①道路改良事業に伴う配水管布設1m当り布設コスト	0	0	135,024	円/m		
	②分譲地給水工事に伴う配水管布設1m当り布設コスト	72,367	65,866	62,648	円/m		
	③土地区画整理事業に伴う配水管布設1m当りコスト	37,596	50,032	62,647	円/m		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①配水管ブロック化整備率(※乙川中部土地区画整理事業との調整により、令和5年度の実施となる。)	実績値	-	-	-	%
			目標値	-	-	-	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B 土地区画整理事業や宅地開発、集合住宅の立地など、新たな需要に対応する必要がある地域における配水管布設については、将来を見据えた管種・口径を選定し、安定した水道水を供給することができた。					
		改善推進					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	配水管のブロック化については、乙川中部土地区画整理事業者の進捗に合わせて実施する必要があるため、引き続き事業者と綿密に調整していく。高度経済成長期に整備された施設や管路が更新時期を迎えていることから、持続可能な健全な経営のもと、水道施設の適切な維持管理と計画的な更新及び再構築を進めていく。なお、施設・配水管整備計画等については、令和2年度中の策定を予定している。				
令和2年度の目標		成果指標			目標値	単位	
		①配水管ブロック化整備率(※乙川中部土地区画整理事業との調整により、令和5年度の実施となる。)			-	%	